

伊予 松山城

Iyo-Matsuyama Castle

城郭・御殿・城下町

令和8年 9月19日[土]～11月23日[月・祝]

開館時間 9:00～17:30 (入場は17:00まで)

愛媛県歴史文化博物館

MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 0894-62-6222 i-rekihaku.jp



観覧料：大人（高校生以上）650円（500円）、65歳以上400円（350円）、小・中学生400円（350円）※未就学児無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金 ※ほかに常設展・新常設展・特別展共通券もあります。 休館日：9月24日(木)、28日(月)、10月6日(火)、13日(火)、19日(月)、26日(月)、11月4日(水)、9日(月)、16日(月)
主催：愛媛県歴史文化博物館 後援：愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK 松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸・八西CATV・西予CATV・宇和島ケーブルテレビ・FM愛媛・FMがいや





伊予 松山城

城郭・御殿・城下町

「九州・中国のかなめ所」と豊臣秀吉朱印状に記されるように、伊予は西国の押さえとして最重要視された地域でした。関ヶ原合戦の後、その九州と中国をにらむ絶好の場所に、加藤嘉明により築かれたのが松山城です。嘉明は慶長7年(1602)、松山平野の中心にある丘陵の勝山に築城を始めます。その後、蒲生忠知を経て、徳川家康の甥に当たる松平定行が入り、以降幕末に至るまで御家門の久松松平家の居城となりました。

本展覧会では、初期の松山城の姿からその歴史の変遷を、元禄期(1688～1704)の松山を鳥瞰して緻密に描いた松山城内図屏風をはじめ、各時期の城下絵図を通じて紹介します。江戸時代が安定期に入った貞享4年(1687)には、4代藩主松平定直が二の丸から三の丸に御殿を移して、藩政の中核とします。藩主の生活の場でもあった三の丸御殿については、御殿の北側部分とそれに面した池水庭園を描いた「三之丸絵」を展示します。また、初代藩主松平定行は、家督を嫡男の定頼に譲って松山郊外の東野に退き、御殿を建築するとともに茶室を設けるなどして、隠居生活を送ります。松山という近世都市の郊外に現れた別荘についても新たな要素として注目します。

新しく発見された旧松山藩主久松家歴史資料も展示することで、最新の研究成果から松山城とその城下町の姿に迫ります。



初代藩主が愛した緑豊かな別荘 竹茶屋之分東野茶屋屋形絵図(久松家歴史資料)

藩主が住む三の丸御殿をのぞく 三之丸絵(久松家歴史資料)江戸時代後期



落雷で焼ける前の松山城の勇姿 松山城内図天明図(部分) 関西大学博物館蔵

特別展開連講座

「四国の城郭石垣」

日時: 令和8年10月4日(日) 13:30～15:00

講師: 楠 寛輝 氏(松山市教育委員会)

「屏風や絵図から読み解く松山城の歴史」

日時: 令和8年10月18日(日) 13:30～15:00

講師: 井上 淳(当館学芸課長)

「三之丸跡の発掘調査成果～門と土塁を中心に～」

日時: 令和8年10月24日(土) 13:30～15:00

講師: 西村 直人 氏(松山市教育委員会)

「松山城下町について」

日時: 令和8年11月22日(日) 13:30～15:00

講師: 井上 淳(当館学芸課長)

*ご来館を予定されるお客様へ
会期中のイベントの予定や内容に変更が生じる場合があります。
博物館ホームページなどにより最新の情報をご確認ください。



【交通アクセス】

- 車 松山自動車道 松山 IC から西予宇和 IC 経由で約50分
- JR 松山駅から卯之町駅まで特急で約1時間
- バス 卯之町駅から歴史博物館行き(約7分)、歴史博物館前下車

愛媛県歴史文化博物館

MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 0894-62-6222 i-rekihaku.jp

管理運営・指定管理者 いよてつ総合企画

